

一般会計

歳入全般



- ①基金繰入金に対する市の考えを問う。
②ふるさと納税の状況と財源の使い道を問う。
③個人市民税の実績と市民生活は、どのようなになっているか。
④税収が厳しい中、平成28年度はどのような取り組みをしたか。

民生費



- ①高齢者運転免許自主返納制度の変更内容について問う。
②児童健全育成経費、キャンプの利用者数について問う。
③高齢者公営住宅事業経費、シルバーピア管理人の状況について問う。
④施設予約システムについて、台帳方式とオンライン方式の併用についての検討はあったのか?
⑤民生委員の改選について問う。
⑥児童扶養手当の現況届の相談対応について問う。
⑦産前産後ケアの支援について問う。
⑧生活困窮者自立相談支援業務について、予算削減の根拠を問う。

衛生費・労働費



- ①体操事業の種類を問う。
②みんなで川へ繰り出そう事業の成果と内容を問う。
③ヘリコプターの騒音苦情は、市にはないか?
④里帰り等妊婦健診助成金の開始時期と目的、平成28年度の実績を問う。
⑤胃がんリスク健診の結果を問う。
⑥ふらっとエクササイズ事業経費における親子体操の状況と保育制度について問う。

議会費・総務費



- ①戦争の記憶の伝承など、学校教育、社会教育の中での考えを問う。
②街頭防犯カメラについて、今後の駅への設置予定を問う。
③職員採用の現状について問う。
④発信力向上としてスマートフォンアプリを活用した取り組みについて問う。
⑤5次行革との関係、市民への負担増、歳出削減と歳入増を全般に考えると基金をこれほど積み立てる必要があるのか問う。
⑥情報化推進技術支援業務ほか、技術支援の委託内容、項目、成果のチェックが市で出来るのか問う。

教育費・公債費・諸支出金・予備費



- ①学童クラブの法的根拠、位置づけ、目的について問う。
②被災地に学ぶプロジェクト経費について市の見解を問う。
③平成28年度の特別展の概要に関して問う。
④学校トイレについて、平成28年12月の補正予算の内容について問う。
⑤奨学金支給事業経費において、アンケート調査の中身を問う。
⑥市民プール整備経費における修繕の内容を問う。
⑦中央図書館空調機更新修繕の内容を問う。
⑧日野宿発見隊事業の平成28年度の事業内容を市としてどのようにとらえているか問う。
⑨発達障害早期支援研究事業の内容を問う。

農業費・商工費・土木費・消防費



- ①空き家対策経費についてどのような事例があったのか問う。
②道路舗装補修計画について、平成28年度の進捗よく状況を距離と金額で示してほしい。
③日野宿交流館の平成28年度の整備状況について問う。
④買い物弱者支援の進捗よく状況について問う。
⑤多摩平の森産業連携センターの平成28年度の管理・運用状況について問う。
⑥TOYODA BEERを地元で作った大麦で生産を目標としていたが、平成28年度の状況と現在の状況について問う。
⑦LED街路灯の導入にあたり平成28年度の調査結果について問う。
⑧マンホールを角型から丸型への移行する計画は、どのくらいの期間を要するのか?

総括質疑



- ①平成28年度決算における諸力融合の事業を振り返り、所見を問う。
②公契約条例検討委員会の進捗よく状況について問う。
③主要な祭りについて何人くらいの体制でどのような取り組みをしたのか問う。
④子どもの貧困対策を進めていくうえで、人への投資というのはどのように予算を確保していくのか問う。
⑤市長の言うバランスの取れた財政運営とは何なのか問う。
⑥財政調整基金の45億円の考え方について確認。



一般会計決算の認定に賛成か、反対か

※無会派議員の賛否表明…賛成1人・反対1人

平成28年度 歳入 1,196億3,762万円 (前年度比 0.7%増)
歳出 1,175億 140万円 (前年度比 1.2%増)

Table with 3 columns: 会計別, 歳入, 前年度比. Rows include 一般会計, 特別会計, 国民健康保険, 土地区画整理事業, 下水道事業, 介護保険, 後期高齢者医療, 市立病院事業.

(注)金額は、各欄ごとに1万円未満を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。

賛成

市民が平等にサービスを受けられているか、少ない予算で高い効果が出るよう工夫されているか、目標に対して、チェックやアクションが確実に実施されているか。当会派は、ここに注目して審査に臨み、決算を認定すべきとの結論に至りました。

増加が続いているのが日野市の全体像であり、多額の予算が必要とする事業の課題も多々あります。これを踏まえて、具体的なPDCAの活用を日常業務の習慣に市民クラブ」

賛成

平成28年度決算では歳入・歳出ともに前年と比べ増額しました。形式収支は約22億9千万円の黒字となりましたが、今後は、人口減少・高齢化、税収減少、社会保障費の増大、施設の老朽化など財政状況が一層厳しくなることが予想されます。このことを念頭に置きながら、主な項目について意見を述べます。

将来を見据えた慎重な財政運営を公明党」

賛成

平成28年度は国内景気に改善が見られた一方で、将来不安な対応が求められる。将来世代に負担を先送りすることのないよう、経常収支比率を適正水準へ押し上げるべく一層の努力を重ねてくださ

適正な予算執行で将来のリスクへの備えを自由民主党日野市議団」

賛成

市財政の根幹である税収については、個人市民税が増加した一方で、法人市民税や各種交付金の減少により、前年度比1.3%の減収となりました。また、経常収支比率は前年度から2.1ポイント悪化した。歳入の確保と歳出削減への更なる努力が求められる。多岐にわたる市民サービス充実させるためにも、平成

29年度からの第5次行政改革をしっかりと進めていくことを求めます。次に、特筆すべき経費について意見を述べます。①姉妹都市締結した紫波町と更なる都市間交流を進め、相互の商業・観光振興に繋げることを期待②職員採用試験の見直しの結果、職員自らによる業務の遂行が見られたことを評価③キャンプ事業など、児童館での子どもの居場所づくりに関する事業を評価④市の魅力発信の場として浅川アユまつりの更なる充実を⑤市内街路灯のLED化により環境負

反対

決算不認定の理由を2点述べます。第1の理由は、過去3番目に高い23億円の剰余金を生み出した市のお金の使い方にあります。当会派は、施設の改修、耐震化などの早期実施と計画の前置きを求めてきました。また、待機児童の解消も一向に進んでいないにも関わらず、多額の予算の使い残しを生んでいます。市

民の暮らし・福祉を増進させるため、是正を求めます。第2の理由は、可燃ごみ処理の広域化を巡って、強引な市政運営が続いていることです。搬入路の建設では、工事車両を通すための道路工事を強行してしまっ。また、「報告と意見交換の場」と目的をすり替えて、形だけの地元協議会を立ち上げようとしている。市民と共に計画を巡って、強引な市政運営を止め、計画の白紙撤回を改めて求めます。次に、決算審査の中で取り上げた問題9点について改善・改革を提案します。

決算を審査

予算は正しく使われたのか? 成果をあげられたのか?

決算の審査とは 予算が収入と支出の見積もりであるのに対し、決算は収入・支出の結果です。決算の審査とは、予算がどのように使われ、いかに成果を上げたのかを議会が市民の立場に立って審査することです。

国民健康保険特別会計



- ①保険料率の改定により1人当たりの保険料額はどのようになったか問う。
②生計費の差し押さえは何に基づいて行っているか問う。
③ジェネリック医薬品の普及達成率について問う。
④国民健康保険の世代別加入者数を問う。



①所得が低い人ほど負担が重い。滞納者への差し押さえは生活を脅かす(反対)。

下水道事業特別会計

質疑・意見は、ありませんでした。

後期高齢者医療特別会計

質疑・意見は、ありませんでした。

介護保険特別会計



- ①地域介護予防運動支援事業業務委託料における介護予防教室の事業効果を問う。
②介護認定審査会における要介護認定までの期間、認定に要する時間がかかる要員・改善策、認定までの暫定措置について問う。



- ①介護報酬の改定や総合事業の導入、利用者負担の引き上げの実態を把握して、事業者・利用者の声に耳を傾けてほしい(賛成)。
②しっかりとした介護の在り方を作っていく仕組みを市民と一緒に作り、介護職員の処遇改善を求める(賛成)。

市立病院特別会計



- ①市立病院の形態について、公営企業法の全部適用のメリットについて問う。
②平成29年度全部適用に向けての思い、心構え、決意について問う。
③非正規労働者の数について問う。
④救急車の応需率と不応需の理由について問う。



- ①今後、全部適用に向けて、第三者委員会の中で患者別、疾病別の原価計算を検討材料として協議してほしい(賛成)。
②市民に愛される病院にするためにはどうすることが必要なか、コンセプトをしっかりと持つことが大事(賛成)。
③全部適用することは、経営悪化を招きかねないため、体制を整え慎重な対応を求める(賛成)。

解説は『広報ひの』に



平成28年度決算内容の解説は、「広報ひのの11月1日号」の2ページから4ページに掲載されています。併せて、ご参照ください。